

日本フードサービス学会第 25 回年次大会 『フードサービス業の持続可能性 ーテクノロジーとヒューマンウェアー』

平成 30 年のフードサービス業の市場規模は、一人当たり外食支出額はわずかに減少したものの、インバウンド消費、法人交際費の増加などにより、前年比 0.3%増加し、25 兆 7,692 億円と推計されます【一般社団法人日本フードサービス（略称：JF）協会資料】。しかしながら、近年は横ばい傾向にあります。JF が設立した 45 年前、1970 年代は多くのファーストフードやファミリーレストランが登場した時期であり、当時は GDP 成長、人口増加、モータリゼーションなどの経営環境と共にチェーン理論やセントラルキッチン方式、フランチャイズシステムの導入などといった手法で大きく成長して来ました。フードサービス業が社会の「食」の分野をリードし豊かな食生活を支えてきたのです。

しかし、今、フードサービス業に求められるものは「美味しさ、楽しさ」の実現ということとは当然であって、CSR 活動や環境保護の取組みといった個別課題への対応を超えた、包括的な持続可能性に関する施策が求められています。持続可能性の指標となる SDGs（持続可能な開発目標）は、フードサービス業にもその波は押し寄せ、プラスチックごみの削減、食品ロスの削減、フェアトレード製品の活用、働き方改革、外国人雇用などの諸問題を解決していかなければなりません。その中で、フードサービス業の効率化を支えてきたテクノロジーは、今や AI を導入した自動化が中心となり、機械が人に代わってサービスを行うことが当たり前の時代になっていこうとしています。しかし、サービスは本来、人と人の関わり合いで成り立ってきたものであり、従業員満足と顧客満足との相互作用によって絆が作られてきたのです。「人が出来ること、人にしか出来ないこと」の重要性を考えていかなければなりません。もちろん、従業員満足と従業員定着率の問題もあります。今回の大会では、『フードサービス業の持続可能性』をテクノロジーとヒューマンウェアの両面から議論してみたいと考えています。

本学会には、理論研究、事例研究、実証研究、国際比較研究、歴史研究など、多様なアプローチからの研究が期待されています。

そこで、今回の大会では、自由論題として、大会テーマである『フードサービス業の持続可能性』に関連する研究報告のみならず、幅広い視点からの研究報告を求めます。第 25 回年次大会で、フードサービス業について活発な議論ができますよう、学会員の皆様におかれましては、研究報告の奮ってのご応募をお願い申し上げます。

日本フードサービス学会第 25 回年次大会
実行委員長 小泉 徹

2019年12月

会 員 各 位

日本フードサービス学会第25回年次大会
実行委員長 小泉 徹

第25回年次大会の研究報告を下記の要領にて募集致します。
奮ってお申し込み下さいますようお願い申し上げます。

日 本 フ ー ド サ ー ビ ス 学 会 第 2 5 回 年 次 大 会

会 期：2020年6月6日（土）

会 場：専修大学神田キャンパス（東京都千代田区神田神保町3-8）

研究報告の申込方法

一般研究発表申込締切：2020年1月31日（金）必着

募集テーマ：フードサービス全般に関する演題を募集致します。

大会テーマ「フードサービス業の持続可能性ーテクノロジーとヒューマンウェアー」に関連した演題も歓迎です。

申込方法：添付の「研究報告申込用紙」に必要事項を記入の上、事務局宛に FAX または、E-mail 添付にてご送付下さい。

申込資格：本学会会員並びに賛助会員の所属社員に限らせていただきます。これから入会される方も歓迎です。入会手続き中の場合はその旨明記下さい。

採択について：2月に開催される実行委員会にて審議し、通知申し上げます。

講演発表

1. 発表形式：口頭発表（講演時間 35 分、質疑 5 分程度の予定。）
2. 発表方法：Microsoft Power Point によるプレゼンテーションとなります。

研究報告申込先：日本フードサービス学会事務局
（一社）日本フードサービス協会 内
TEL:03-5403-1060 FAX:03-5403-1070
E-MAIL: info-gakkai@jfgakkai.jp

送付先 FAX : 03-5403-1070
締切 : 1 月 31 日 (金) 必着

日本フードサービス学会第 25 回年次大会研究報告申込用紙

1. 研究報告テーマと報告者の氏名・連絡先

研究報告テーマ	
氏名	
所属	
役職	
連絡先電話番号	
連絡先 メールアドレス	

2. 研究報告内容の概要 (400~600 字)

--

3. 研究報告内容に関連する業績を 2 点書いてください

論文名・書名	雑誌名・出版社名	出版年
1.		
2.		